

## 低炭素電気普及促進計画書兼報告書

2019年 8月 27日

(提出先)  
横浜市長

港区芝浦3-1-21  
住所 田町ステーションタワーS 20階

株式会社F-Power  
氏名  
代表取締役 沖 隆

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例第146条の7第1項及び第2項の規定により、次のとおり計画を提出し、及び実施の状況を報告します。

### 1 特定電気事業者の概要

事業者の名称及び代表者の氏名	株式会社F-Power 代表取締役 沖 隆	
主たる事業所の所在地	港区芝浦3-1-21 田町ステーションタワーS 20階	
発電事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
供給区分	<input checked="" type="checkbox"/> 特別高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 高圧 <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電力） <input checked="" type="checkbox"/> 低圧（電灯）	
事業の概要 (発電事業実施の場合は、発電事業の概要も記載)	当社では総合エネルギーサービス事業を展望し、電力の売買業務及び売買の仲介業務、発電及び電力の供給業務並びに送配電業務等の事業を展開しております。 ◇発電事業 環境価値の高い都市ガス焚きの発電所を関連会社として2か所に設置し、高効率のガス発電の最適な運用を実施しております。	
担当部署 連絡先	事業所名	株式会社F-Power
	部署名	営業本部 営業推進室 アセットトレーディングチーム
	電話番号	03-4500-1614
	E-mail	fp_trading@f-power.co.jp

### 2 対象年度

提出年度 (当年度)	2019年度
---------------	--------

### 3 低炭素電気の普及の促進のための基本方針

<p>電気事業連合会と新電力が共同で取りまとめた、低炭素社会実現計画の達成に寄与いたします。</p> <p>「発電事業等に係る取組方針」 清掃工場や風力、水力などの再生可能エネルギーによる電力を調達電源として拡大してまいります。またガス焚きの調整用発電所の運転効率の向上により、CO2排出量の削減に努めます。さらに再生可能エネルギーや都市ガスを燃料とする発電所からの調達・開発をすすめます。</p> <p>「その他の取組方針」 需要家様への省エネルギー・電力メニューなどを通し、お客様の環境に対する意識を啓発してまいります。具体的にはデマンドレスポンスなどの導入、電力使用の「見える化」のしくみの活用を通して節電を促す取り組みを推進します。</p>
--

#### 4 推進体制

- ・定期的に環境評価を実施する組織を設置します。
- ・営業・カスタマーサポートにおいて、環境価値の高いサービスを啓蒙します。

「発電事業等に係る推進体制」  
再生可能エネルギーに由来する発電所と電力小売事業をおこなう弊社が連携して発電所の効率的な運用を行っていきます。

#### 5 低炭素電気普及促進計画書兼報告書の公表方法

公表の有無	<input checked="" type="radio"/> 有	<input type="radio"/> 無
公表方法	窓口での閲覧 閲覧場所：株式会社F-Power 所在地：東京都港区芝浦三丁目1-21 閲覧可能時間：平日10:00～17:00	

#### 6 電源構成の公表状況

公表の有無	<input type="radio"/> 有	<input checked="" type="radio"/> 無
公表方法		

#### 7 電気需要者への低炭素電気の普及の促進に係る措置

- ・デマンドレスポンスなど節電協力のメニューの展開、システム開発
- ・環境価値の高い電力販売を通じた意識啓蒙
- ・省エネルギー診断のコンサルティングや協力会社との連携

RE100に 対応した 電気の供給	対応の可否	<input checked="" type="radio"/> 対応可	<input type="radio"/> 対応不可	<input type="radio"/> 一部対応可
	備考			

8 電気の供給に伴い排出される1kWh当たりの温室効果ガスの量及び抑制計画

排出係数種別	前々年度	前年度	当年度	長期目標
	2017年度	2018年度	2019年度	2030年度
	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	実績値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]	計画値 [kg-CO <sub>2</sub> /kWh]
基礎排出係数	0.502	0.508	0.500	0.400
把握率 (%)	96.18	75.19	—	—
調整後排出係数	0.513	0.524	0.520	0.350
メニュー別排出係数	A	0	0	—
	B			—
	C			—
				—
				—
				—
				—
				—
				—
前々年度の排出係数に対する前年度の排出係数の増減理由	FIT電源の購入量が増加した為、排出係数が増加いたしました。			
排出係数の抑制措置のための取組	自治体の廃棄物発電所やコジェネ電源等未利用エネルギーの獲得向上に努めます。			

9 電気の供給に伴い排出される二酸化炭素の量

排出区域	前々年度	前年度	当年度
	2017年度	2018年度	2019年度
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	計画値 [t-CO <sub>2</sub> ]
全国総量	5051857	5775772	2340165
市内	79628	106832	43293

(A4)

10 電気の調達実績

調達実績	前々年度		前年度	
	2017年度		2018年度	
	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]	調達電力量 [kWh/年]	構成比 [%]
調達電力量 (総量)	10249569	—	11450769	—
再生可能エネルギー (FIT電気除く)	372335	3.63	250036	2.18
太陽光	281	0.00	495	0.00
風力	1605	0.02	5879	0.05
水力	310614	3.03	219573	1.92
その他 (バイオマス)	59834	0.58	24090	0.21
再生可能エネルギー (FIT電気)	446272	4.35	259513	2.27
太陽光	175906	1.72	125508	1.10
風力	30257	0.30	22007	0.19
水力	34634	0.34	22277	0.19
その他 (バイオマス)	205475	2.00	89721	0.78
未利用エネルギー	316909	3.09	170495	1.49

11 調整後二酸化炭素排出量の算定に用いた国内認証排出削減量等

項目	前々年度	前年度
	2017年度	2018年度
	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]	実績値 [t-CO <sub>2</sub> ]
削減相当量	0	0.05

12 再生可能エネルギー・未利用エネルギーを利用した電気及び国内認証排出削減量等の調達の促進に係る取組の実施状況及び計画

現在、契約発電所（工場および清掃工場）の未利用エネルギー等を活用しており、今後も積極的に取り組みを推進して参ります。

13 その他の低炭素電気の普及の促進に係る措置

社内では省エネ、節電対策取ることによって社員の意識改革を行っております。モニターの節電設定、クールビズの奨励、空調温度の28度設定などを行っております。